

令和 8 年 10 月 8 日
港 湾 局
参事官(技術監理・情報化)室

衛星三次元測位の活用により港湾工事の効率化を推進 ～「港湾工事における衛星三次元測位の実用化に関する検討会（第1回）」を開催～

現在の港湾工事では、潮位観測を実施し、水深の基準となる最低水面と実際の潮位との差を補正した上で施工や測量を行っているため、多くの労力と時間を要しています。

このため、国土交通省港湾局では、潮位観測による補正を必要としない施工・測量の実現に向け、海上保安庁が作成する「水路測量基準面 2025」を活用し、衛星三次元測位により施工や測量に必要な水深を効率的に取得することを検討しています。

今般、本技術の実用化を促進するため、検討会を設置し、課題への対応方法や運用方策等について議論を行います。

記

1. 日 時：令和8年10月14日（水）15時00分から17時00分まで
2. 場 所：〒105-003 港区西新橋1-14-2新橋エス・ワイビル5F
一般財団法人 沿岸技術研究センター大会議室
3. 議 事：（1）これまでの検討状況について
（2）今年度の検討予定について

■その他

- ・本検討会は非公開ですが、冒頭の挨拶のみカメラ撮影が可能です。
- ・撮影を希望される報道関係者は、10月13日（火）17時までに、以下のとおり電子メールにてご連絡をお願い致します。

<取材参加申込方法>

送付先：hqt-eiseisanjigen★gxb.mlit.go.jp（★を@に置き換えてご連絡ください。）

件 名：港湾工事における衛星三次元測位の実用化に関する検討会（第1回）参加希望

本 文：[1]氏名（ふりがな）、[2]所属、[3]連絡先（電話番号及びメールアドレス）

※取得した個人情報は適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。

- ・検討会終了後には、資料及び議事要旨を以下の港湾局 HP で公開します。

https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr5_000124.html

【問合せ先】

港湾局 港湾局参事官(技術監理・情報化)室 河野、菅、末廣

TEL：03-5253-8111（内線 46-602、46-623）、03-5253-8682（直通）

港湾工事における衛星三次元測位の実用化に関する検討会 委員名簿

順不同、敬称略

委 員	岩波 光保	東京科学大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系 教授
委 員	久保 信明	東京海洋大学 海洋工学部 海洋システム工学科 教授
委 員	小倉 勝利	一般社団法人 日本埋立浚渫協会 技術委員会 委員
委 員	三代 利郎	全国浚渫業協会 業務運営委員会 委員長
委 員	岸本 高彦	一般社団法人 海洋調査協会 専務理事
委 員	久米 英輝	特定非営利活動法人 海上 GPS 利用推進機構 専務理事
委 員	林王 弘道	海上保安庁 海洋情報部 技術・国際課 水路測量技術総合分析官
委 員	大岡 秀哉	国土交通省 大臣官房参事官（技術監理・情報化）
委 員	野呂 茂樹	国土交通省 港湾局 技術企画課 港湾工事高度化室長
委 員	辰巳 大介	国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾情報化支援センター 港湾業務情報化研究室長